



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社インターメスティック 上場取引所 東
 コード番号 262A URL <https://www.zoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 博史
 問合せ先責任者 (役職名) CFO管理本部長 (氏名) 里見 亮陸 (TEL) 03(5468)8650
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 2026年3月27日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	50,151	11.8	5,990	19.5	5,979	22.6	4,119	17.2
2024年12月期	44,845	12.5	5,012	43.3	4,878	42.3	3,515	37.2

(注) 包括利益 2025年12月期 4,138百万円 (17.7%) 2024年12月期 3,516百万円 (36.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	134.62	130.98	16.8	12.2	11.9
2024年12月期	151.31	145.66	23.9	17.8	11.2

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	62,952	25,966	41.2	848.58
2024年12月期	34,842	23,058	66.2	753.55

(参考) 自己資本 2025年12月期 25,966百万円 2024年12月期 23,058百万円

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	5,220	△28,933	13,716	10,060
2024年12月期	6,359	△1,671	9,057	20,045

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	40.20	40.20	1,230	35.0	7.6
2025年12月期	—	0.00	—	44.00	44.00	1,346	32.7	5.5
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	51.00	51.00		32.8	

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	85,800	71.1	7,502	25.2	7,100	18.7	4,752	15.4	155.32

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 6社 (社名) Horus HD株式会社
 Horus株式会社
 株式会社ビジョナリーホールディングス
 株式会社メガネスーパー
 株式会社VISIONISE
 株式会社VisionWedge
 、除外 1社 (社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	30,600,000株	2024年12月期	30,600,000株
2025年12月期	—株	2024年12月期	—株
2025年12月期	30,600,000株	2024年12月期	23,230,328株

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	20,140	9.1	6,175	17.5	6,481	20.2	4,404	22.1
2024年12月期	18,461	21.8	5,254	79.3	5,391	71.7	3,607	73.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	143.94	140.05
2024年12月期	155.28	149.47

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	49,322	26,682	54.1	871.99
2024年12月期	29,209	23,500	80.5	767.98

(参考) 自己資本 2025年12月期 26,682百万円 2024年12月期 23,500百万円

(注) 当社は、2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年1月1日～2025年12月31日)における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇の継続により消費者マインドは慎重な動きとなり、個人消費には一部に足踏み感がみられました。世界経済においては、米国の金融政策動向や中国経済の減速懸念などを背景に不透明感が継続しており、我が国経済に影響を及ぼす要因となっております。また、金融資本市場の変動や中東情勢などの地政学的リスクも引き続き懸念されており、国内外の経済情勢の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループは“Eye Performance”をビジョンに掲げ、視力矯正器具に留まらず、メガネをファッションアイテムとして、さらには人間の可能性を拡張するツールとして、新しい価値の提示を通じて、社会や暮らしに必要とされるブランドを目指し、取り組みを進めてまいりました。

商品施策につきましては、レンズ以外のすべてのパーツをラバーのみで成型した「Galileo(ガリレオ)」、人気セレクトショップ「UNITED ARROWS」との2025年秋冬新作アイウェアコレクション、トータルメイクアップブランド「MAQuillage(マキアージュ)」と共同企画した「Zoff SMART with MAQuillage」、「軽い、強い、美しい」を兼ね備えたチタン素材フレーム「intelligence metal TITAN」等、積極的な新商品の展開に取り組んでまいりました。

広告展開につきましては、Snow Manのメンバーとして、また俳優としても活躍する目黒蓮をグローバルブランドアンバサダーに迎え、TVCM「Zoff meets 目黒蓮 SUNCUTGlasses」篇を全国規模で放映し、UVカット率100%を特徴とする「SUNCUTGlasses」シリーズの認知拡大を図りました。

店舗展開につきましては、当連結会計年度における店舗数は、国内332店舗(すべて子会社である株式会社ゾフが運営)、海外20店舗(すべてフランチャイズ加盟店、香港17店舗、シンガポール3店舗)となりました。

なお、当社はHorus HD株式会社及びHorus株式会社(以下「Horus HDグループ」という。)の株式を2025年10月1日に取得しておりますが、企業結合会計基準等に基づき、そのみなし取得日を2025年12月31日として連結会計処理を行っております。このため、当連結会計年度においては、Horus HDグループの連結はみなし取得日における貸借対照表のみを反映しており、損益計算書にはHorus HDグループの業績は含まれておりません。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は50,151百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は5,990百万円(同19.5%増)、経常利益は5,979百万円(同22.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,119百万円(同17.2%増)となりました。

セグメント別業績の概要は、次のとおりです。

〈国内事業〉

国内事業につきましては、TVCMをはじめとした各種プロモーション施策の効果により「SUNCUTGlasses」や「調光レンズ」が好調に推移しました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は332店舗(出店28店舗、退店3店舗)となりました。

以上の結果、国内事業の業績は、セグメント売上高49,543百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益5,937百万円(同18.2%増)となりました。

〈海外事業〉

海外事業につきましては、香港においては、外部環境の変化が続く中でも、既存店は安定的に推移しました。シンガポールにおいては、景気は緩やかな成長が続いているものの減速傾向が見られました。

店舗展開につきましては、香港17店舗(出店1店舗、退店なし)、シンガポール3店舗(出店なし、退店2店舗)の合計20店舗となりました。

以上の結果、海外事業の業績は、セグメント売上高898百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益52百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は前連結会計年度末と比べ28,110百万円増加し62,952百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,896百万円減少し25,052百万円となりました。これは主に、企業結合等により売掛金が2,021百万円、商品が3,369百万円増加した一方で、株式の取得等に伴い現金及び預金が9,984百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ31,006百万円増加し37,900百万円となりました。これは主に、企業結合に伴いのれんが23,865百万円増加したこと及び、新規出店や改装及び企業結合により有形固定資産が3,289百万円、敷金及び保証金が2,546百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度末と比べ25,202百万円増加し36,986百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ23,237百万円増加し34,612百万円となりました。これは主に、株式の取得を目的として借入を実施したことにより短期借入金が15,100百万円増加したこと及び、企業結合等により買掛金が2,159百万円、未払金が1,861百万円、契約負債が2,435百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ1,964百万円増加し2,373百万円となりました。これは主に、企業結合により退職給付に係る負債が1,503百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ2,908百万円増加し25,966百万円となりました。これは主に、配当金の支払により1,230百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益により4,119百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度に比べ9,984百万円減少し、10,060百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は5,220百万円(前年同期は6,359百万円の獲得)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益5,924百万円(前年同期は4,811百万円)、減価償却費1,096百万円(前年同期は815百万円)、賞与引当金573百万円(前年同期は981百万円)があった一方で、主な減少要因は、法人税等の支払額2,056百万円(前年同期は813百万円支払)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動に使用した資金は28,933百万円(前年同期は1,671百万円の使用)となりました。主な減少要因は、関係会社株式の取得による支出16,168百万円、貸付けによる支出9,866百万円、新規出店や改装のための有形固定資産の取得による支出1,927百万円(前年同期は1,264百万円支出)があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動に得られた資金は13,716百万円(前年同期は9,057百万円の獲得)となりました。主な増加要因は、短期借入金の純増額15,100百万円があった一方で、主な減少要因は、配当金の支払いによる支出1,229百万円(前年同期は896百万円支出)があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、当社グループを取り巻く社会環境においては、国内経済は緩やかに回復しているものの、原材料等の高騰に端を発した世界的なインフレの傾向が見受けられ、為替においても円安が進行するなど、物価高に起因した個人消費への影響が懸念されております。

このような経営環境の変化の中、当社グループが更なる成長を実現するためには、人材への投資強化が必要と考えており、その財源確保のためにも、既存事業の強化や新業態の展開、M&Aの実行を通して経営効率の更なる向上に取り組んでいく方針です。

既存事業の強化においては、サングラス市場の創造と拡大を通じた既存店の成長や、EC事業の成長、店舗運営の効率化などを通じた収益性の向上に努めてまいります。

新業態の展開においては、2025年12月に新店舗を出店したロリータアイウェア専門ショップ「Zolita TOKYO (ゾリータ トウキョウ)」といった全く新しい業態の展開を通じ、既存の業態ではリーチできない新規顧客層の獲得を行ってまいります。

M&Aについては、2025年10月に実行したHorus HD (ビジョナリーホールディングス) のM&Aを実現したように、業界内を主導する立場を確立し、ロールアップ型のM&Aを実行してまいります。

以上により、2026年12月期の通期連結業績予想を、売上高85,800百万円、営業利益7,502百万円、経常利益7,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,752百万円としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,045	10,060
売掛金	1,047	3,068
商品	3,799	7,170
預け金	2,587	3,298
その他	468	1,530
貸倒引当金	—	△76
流動資産合計	27,948	25,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,216	8,510
減価償却累計額	△2,854	△5,150
建物及び構築物 (純額)	1,362	3,359
工具、器具及び備品	2,887	4,873
減価償却累計額	△1,903	△3,140
工具、器具及び備品 (純額)	983	1,733
リース資産	956	2,024
減価償却累計額	△590	△1,349
リース資産 (純額)	366	675
建設仮勘定	13	29
その他	—	219
減価償却累計額	—	△1
その他 (純額)	—	218
有形固定資産合計	2,726	6,015
無形固定資産		
のれん	—	23,865
ソフトウェア	678	986
その他	24	64
無形固定資産合計	702	24,917
投資その他の資産		
関係会社出資金	27	27
敷金及び保証金	2,256	4,803
繰延税金資産	1,139	1,984
その他	52	252
貸倒引当金	△11	△100
投資その他の資産合計	3,464	6,967
固定資産合計	6,893	37,900
資産合計	34,842	62,952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	888	3,047
短期借入金	2,900	18,000
リース債務	115	272
未払金	2,831	4,693
未払費用	199	336
未払法人税等	1,345	1,731
賞与引当金	981	1,971
契約負債	1,240	3,676
預り金	113	157
その他	758	724
流動負債合計	11,374	34,612
固定負債		
リース債務	313	599
退職給付に係る負債	—	1,503
預り保証金	81	109
その他	13	161
固定負債合計	409	2,373
負債合計	11,783	36,986

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	220	220
資本剰余金	10,240	10,240
利益剰余金	12,479	15,368
株主資本合計	22,939	25,828
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	118	129
その他の包括利益累計額合計	118	137
純資産合計	23,058	25,966
負債純資産合計	34,842	62,952

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	44,845	50,151
売上原価	11,138	11,680
売上総利益	33,707	38,470
販売費及び一般管理費	28,695	32,479
営業利益	5,012	5,990
営業外収益		
受取利息	0	75
その他	5	7
営業外収益合計	6	82
営業外費用		
支払利息	33	85
為替差損	95	7
その他	10	0
営業外費用合計	140	94
経常利益	4,878	5,979
特別利益		
固定資産売却益	16	4
関係会社出資金売却益	17	—
店舗移転補償金	49	68
その他	14	—
特別利益合計	97	73
特別損失		
固定資産除却損	69	83
減損損失	92	39
その他	2	5
特別損失合計	164	127
税金等調整前当期純利益	4,811	5,924
法人税、住民税及び事業税	1,644	2,233
法人税等調整額	△348	△427
法人税等合計	1,296	1,805
当期純利益	3,515	4,119
親会社株主に帰属する当期純利益	3,515	4,119

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	3,515	4,119
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	1	10
その他の包括利益合計	1	18
包括利益	3,516	4,138
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,516	4,138

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	220	150	9,862	△3,975	6,257
当期変動額					
剰余金の配当			△896		△896
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,515		3,515
自己株式の処分		10,090		3,975	14,065
連結範囲の変動			△1		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	10,090	2,617	3,975	16,682
当期末残高	220	10,240	12,479	—	22,939

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	—	116	116	6,374
当期変動額				
剰余金の配当				△896
親会社株主に帰属する 当期純利益				3,515
自己株式の処分				14,065
連結範囲の変動				△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	1	1	1
当期変動額合計	—	1	1	16,684
当期末残高	—	118	118	23,058

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	220	10,240	12,479	—	22,939
当期変動額					
剰余金の配当			△1,230		△1,230
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,119		4,119
自己株式の処分					—
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	2,889	—	2,889
当期末残高	220	10,240	15,368	—	25,828

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	—	118	118	23,058
当期変動額				
剰余金の配当				△1,230
親会社株主に帰属する 当期純利益				4,119
自己株式の処分				—
連結範囲の変動				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	8	10	18	18
当期変動額合計	8	10	18	2,908
当期末残高	8	129	137	25,966

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,811	5,924
減価償却費	815	1,096
減損損失	92	39
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△121	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	981	573
支払利息	33	85
敷金及び保証金償却	75	73
移転補償金	△49	△68
関係会社出資金売却益	△17	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△305	△277
棚卸資産の増減額 (△は増加)	516	△48
預け金の増減額 (△は増加)	33	△592
仕入債務の増減額 (△は減少)	△506	230
前払費用の増減額 (△は増加)	△55	△425
未払消費税等の増減額 (△は減少)	369	△269
未払金の増減額 (△は減少)	341	574
契約負債の増減額 (△は減少)	158	463
預り金の増減額 (△は減少)	△40	△78
その他	22	△44
小計	7,156	7,256
利息の支払額	△33	△83
法人税等の支払額	△813	△2,056
移転補償金の受取額	49	68
その他	0	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,359	5,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,500
定期預金の払戻による収入	—	5,500
有形固定資産の取得による支出	△1,264	△1,927
無形固定資産の取得による支出	△212	△347
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	34	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△16,168
貸付けによる支出	—	△9,866
敷金及び保証金の差入による支出	△265	△565
敷金及び保証金の回収による収入	101	16
その他	△65	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,671	△28,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	15,100
長期借入金の返済による支出	△3,975	—
リース債務の返済による支出	△136	△153
配当金の支払額	△896	△1,229
自己株式の売却による収入	14,065	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,057	13,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,747	△9,984
現金及び現金同等物の期首残高	6,268	20,045
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30	—
現金及び現金同等物の期末残高	20,045	10,060

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前払費用の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。また、「移転補償金」及び「移転補償金の受取額」についても、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より表示することといたしました。一方、「固定資産除却損」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「移転補償金」△49百万円、「前払費用の増減額(△は増加)」△55百万円、「その他」69百万円、小計欄以下においては「移転補償金の受取額」49百万円として組み替えております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Horus HD株式会社
Horus株式会社

事業の内容 メガネ、コンタクトレンズ及び付属品、補聴器の販売

② 企業結合を行った主な理由

今回、当社が株式を取得したHorus HDグループ(以下「対象会社グループ」という。)は、「メガネスーパー」を主ブランドとしてメガネ及びコンタクト小売店を全国299店舗(2025年12月末現在)を展開しております。一方、当社グループは、「Zoff」ブランドのメガネ小売店を全国332店舗(2025年12月末現在)展開しております。当社グループに対象会社グループを迎え入れることにより、店舗数600店舗を超えるメガネ小売企業が誕生します。対象会社グループはコンタクトレンズの販売に強く力を入れており、グループの売上高においてもメガネ売上高をコンタクトレンズ売上高(EC売上高含む)が上回っています。かつ、コンタクトレンズの顧客は若年層が多く、当社の顧客層との重なりが大きいことから、本株式取得によるクロスセルなどのシナジーが見込めるものと判断し、本件を決定いたしました。

③ 企業結合日

株式取得日 : 2025年10月1日

みなし取得日 : 2025年12月31日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100% (Horus株式会社については、Horus HD株式会社を通じて保有する議決権を含む)

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2025年12月31日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当連結会計年度に係る連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	20,001百万円
取得原価		20,001

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 30百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

23,865百万円

なお、のれんは、当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間を見積り、合理的な期間で均等償却する予定であります。なお、償却期間については、現在算定中であります。

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	9,395百万円
固定資産	9,085
資産合計	18,481
流動負債	6,294
固定負債	11,665
負債合計	17,959

(7) 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

売上高	28,630百万円
営業利益	1,564

(概算額の算定方法)

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と、取得企業の連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額を、影響の概算額としております。

なお、影響の概算額については監査証明を受けておりません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にメガネ等を販売しており、国内においては国内子会社が、海外においては各国の現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略、方針及び目標を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「国内事業」及び「海外事業」では、主にメガネ等を販売しており、各国の現地法人がそれぞれ店舗及びインターネット等におけるメガネ等の販売を担当しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,977	868	44,845	—	44,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	291	—	291	△291	—
計	44,269	868	45,137	△291	44,845
セグメント利益又は損失(△)	5,022	△22	5,000	12	5,012
セグメント資産	34,720	268	34,988	△146	34,842
セグメント負債	11,597	471	12,068	△284	11,783
その他の項目					
減価償却費	808	7	815	—	815
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,776	0	1,776	—	1,776

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去及び未実現利益調整額であります。

(2)セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、主にセグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,253	898	50,151	—	50,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	290	—	290	△290	—
計	49,543	898	50,441	△290	50,151
セグメント利益	5,937	52	5,990	0	5,990
セグメント資産	62,831	311	63,142	△190	62,952
セグメント負債	36,800	412	37,212	△226	36,986
その他の項目					
減価償却費	1,089	7	1,096	—	1,096
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,611	—	2,611	—	2,611

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、主にセグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの資産に関する情報

当連結会計年度において、Horus HD株式会社及びHorus株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当連結会計年度末の報告セグメント資産の金額は、「国内事業」セグメントにおいて18,481百万円増加しております。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、減損損失92百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、減損損失39百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度において、Horus HD株式会社及びHorus株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、「国内事業」セグメントにおいて、のれんが23,865百万円発生しております。

なお、のれんの金額は当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	753.55円	848.58円
1株当たり当期純利益	151.31円	134.62円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	145.66円	130.98円

- (注) 1. 当社は2024年4月23日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,515	4,119
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,515	4,119
普通株式の期中平均株式数(株)	23,230,328	30,600,000
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	902,227	849,920
(うち新株予約権(株))	(902,227)	(849,920)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当連結会計年度末 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,058	25,966
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	23,058	25,966
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	30,600,000	30,600,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。